

令和6年度 児童発達支援評価表【保護者様】

公表：令和7年2月28日

NPO法人にじ こども発達相談センターにじいろ

保護者数72名 回収：24部 割合：33%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動のスペースが十分に確保されていると思いますか	24					
	2 職員の配置数や専門性は適切であると思いますか	21	1		2	活動の様子をみていないため。	活動内容やお子様の参加人数によって、適切な人員配置ができるよう対応していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされていると思いますか	23				1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっていると思いますか	22	1		1		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1				
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22			2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	23	1				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	2				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか	23			1		
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1		2		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	17	3	1	3		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	1		7		事業所での家族支援として、ペアレントトレーニングを実施しております。パンフレットや保護者様との振り返りの場で情報共有させていただきます。

保護者への説明等

15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	22	2			
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	3			利用日には、最近の子どもの様子や変わったことなどを聞き、こちらが相談したことに対して丁寧に開わり方などの助言をしていただけているので助かっています。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1			<p>他の方もいらっしゃるので大変お忙しいことは重々承知しておりますが、予約した決まった時間に行っても部屋の準備がされていない時があり開始時間が遅れ(こちらが到着してからバタバタと準備されるときが数回あり)悲しい気持ちになるときがありました。また、必要な絵カードを作ると話をしてその後、何度か行ってもその度に良い絵カードの参考資料がなく、できなかった、と話があり、その時も悲しい気持ちになりました。以前、子供の特性のことで話したことがあることも忘れられている?と思うことが数回あり残念な気持ちになりました。</p> <p>今後も、送迎時や振り返りの時間の場や面談の時間を設け、日々のお子様の様子を共有し、助言等の支援をさせていただきます。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。受け入れ準備や、お子様に必要な資料準備など至らぬ点がありましたことを深くお詫び申し上げます。今後、職員間でも情報共有しお子様の受け入れや療育の満足していただけるよう対策を行っていきます。</p>

の 説 明 等	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11					
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	9	1		1		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	10			1		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	11					
非 常 時 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	2				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	10	1				
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	10			1		
	28	事業所の支援に満足していますか。	10					

令和6年度 放課後等デイサービス評価【保護者様】

公表:令和7年2月28日

NPO法人にじ こども発達相談センターにじいろ

保護者数 55 名 回収: 13部 割合:27 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14			1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか	14				1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか	15					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15					
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	14	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14				1	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1	1	3		
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					話が噛み合わない場合があります	事業所利用にあたって重要な説明となりますので、利用者様が理解し、同意していただけるよう、統一した丁寧な説明が行えるよう対応していきます。
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15						

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	3		2		事業所での家族支援として、ペアレントトレーニングを実施しております。ペアレントや保護者様との振り返りの場で情報共有させていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか	14			1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					
非常時の対応等	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15					
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			2		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15					

満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1			にじいろを利用出来て良かったと、感謝しています ありがとうございます。今後も利用者様に満足していただけるよう支援を行っていききたいと思います。

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18			6	きょうだいがいないため、知らないだけかもしれませんが、きょうだいに対する支援があるとしたらどのような機会があるのか知りたいです。	待合室を設置、茶話会を通して、午後保護者同士の交流の機会が設けております。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21			3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	2	1	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1		1		
非常時の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23			1	小さい玩具(くみくみスロープのビー玉など)いくつ出したかなど職員同士で個数の確認をし、片付けの際出した個数あるか確認して頂きたいです。月齢の低いお子様もいるので、誤飲した時が心配です…	貴重なご意見ありがとうございます。ビー玉などのおもちゃについては、数を決めて提供したいと思います。また、年齢に応じた玩具の提供や、月例の低いお子様については、誤飲リスクのあるおもちゃの提供をしない、見守りを徹底して対応していきたいと思っています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1		6		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	3			療育のことを「言葉のお勉強」という風に子どもには伝えていて、本人も「明日はお勉強の日?」と何回も確認するくらい楽しみにしています。気分にもよりますが、好きな活動は楽しみにしています。	ありがとうございます。お子様に楽しみにしていただけるよう、活動内容を工夫しながら日々の療育に取り組んで参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1			いつも親身に指導して下さって感謝しています。ただ、他の方の担当もたくさんおありだと思いますし、お忙しいことは重々承知しておりますが、予約時間に行っても部屋の準備がされていない(こちらが到着してからバタバタと準備される)ことが数回あり悲しい気持ちになりました。また準備しておくと言っていたものが参考になるものがなかった、と話があり、数週間準備にかりやっとなってきたと言われたとき(そんなに時間を要するものなのかと疑問に思いました)は残念な気持ちになりました。また以前、子供について話したことがあることを何度か同じことを話したりしたことがあり、覚えてくださっていないのか?と正直、不信感を覚えてしまいました。	貴重なご意見ありがとうございます。こちらの準備不足や受け入れ体制について不備があったこと、利用者様に不快な思いをさせてしまったこと、大変申し訳ございませんでした。今後、職員間でも情報共有しお子様の受け入れ準備や体制など、皆様に信頼・満足していただけるよう対策を行ってまいります。

ご協力ありがとうございました。

令和6年度 保育所等訪問支援評価表【保護者様】

公表:令和7年2月28日

NPO法人にじ こども発達相談センターにじいろ

保護者数 113名 回収:11部 割合:10%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4	1	1	5		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	11					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	11					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	10	1				
適切な 支援の 提供	5 ⑤ こどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制だと思えますか。	9	1		1		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	11					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)が作成されていると思えますか。	11					
	8 保育所等訪問支援計画(個別支援計画)には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	9	1		1		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	9	2				
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	10	1				
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	10	1				
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	8	1		2		事業所での家族支援として、ペアレントトレーニングを実施しております。パンフレットや保護者様との振り返りの場で情報共有させていただきます。
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	11					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	11					

保護者へ

満足度		その他意見					<ul style="list-style-type: none"> ・とても満足していて楽しみにしています ・いつもありがとうございます ・子供や保護者の悩みを共有し、にじいろの先生方のアドバイスも一緒に担任に伝えてもらうことができるので、とても助かり心強いです! ・特にないです。 ・10周年おめでとうございます。小学校入学において色々不安はありますが、何かあったらまたご質問等させていただきます。よろしく願っています。 ・いつもありがとうございます。 ・その都度相談できるので満足しています ・子どもの特性を踏まえた上で、保育所等訪問をしていただけるので、ありがたいです。これからもよろしく願っています。 ・いつも丁寧なサポートに助かってます。 ・いつも迅速、丁寧に対応していただき、ありがとうございます ・親も気づかない所まで先生方が見ていて下さって、課題がみつかったり、成長を感じたり出来るので、訪問してもらって、良かったと思うことが多いです。 ・いつも温かい支援を有難うございます。今後とも何卒よろしく願ひ致します。 	<p>うれしいお言葉ありがとうございます。今後もお子様や保護者様と一緒に、悩みを共有させていただけたらと思います。今年度で10周年を迎えましたが、今後も継続して皆様に寄り添える支援を行っていただけるよう職員一同、努力して参ります。</p> <p>皆様に満足して利用いただけるよう、職員のスキルアップや職員間での情報共有を行っていききたいと思いますので、よろしく願ひいたします。</p>
-----	--	-------	--	--	--	--	--	--

ご協力ありがとうございました。

令和6年度 保育所等訪問支援評価表【訪問先施設向け】

公表：令和7年2月28日

NPO法人にじ こども発達相談センターにじいろ

訪問先施設数 76名 回収：24部 割合：30%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	17	4		3	なし 事業者と園の関わりがありません。	今後、情報共有が必要な場合には、連携をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	16	8			なし	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	16	8			一度も園児の対応の件で話したことがない	今後、情報共有が必要な場合には、連携をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	8	14	2		①園から保護者へ言いにくい事を相談員さんや事業所の方から言ってもらえるのはありがたい ②そもそも課題に感じていることがない、一度も訪問したことがない ③特に課題や困り事を感じていない	①今後も事業所と園・学校での連携をさせていただけたらと思います。疑問点などありましたら、事業所へお問い合わせください。 ②③今後、情報共有が必要な場合には、連携をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。
5	事業所からの支援に満足していますか。	11	12	1		①子どもに合った支援を続けてもらって、有難いです。 なし ②多くの子どもたちが様々な施設を利用しているため、施設側は1人につき月1回の訪問でも、学校側としては、負担が大きくなっています。 ③とくにアクションがないため	①今後も必要な支援について共有させていただけたらと思います。 ②お忙しい中、訪問の受け入れをいただき感謝しております。訪問先の皆様の負担やアンケートの結果をふまえ、来年度の保育所等訪問を休業させていただきます。今後も必要な情報共有についてはカンファレンスやケース会議などで連携を取らせていただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。
						【その他のご意見】 ①出来ないことで怒り出し、教室からの飛び出しをする子どもがいます。アンダーマネージメントを取り入れてくださると、一歩前進すると思います。 ②保護者の希望を受けた授業だけを参観することはいかかなのか。児童の実態を知るための参観にはなっていない。児童の課題がよく見られる授業(教科)こそ参観してほしい。毎月のように参観希望がくるシステムは、学校側の負担が大きい。児童はいつもと違う雰囲気混乱し、授業が成り立たないことが多い。保育所等訪問が、保護者の意見を学校側に伝える場以外に学校のやり方を変える場になっているように思える。保育所等訪問のシステムが、保護者の考えや対応を変えるシステムになることを希望する。 今後保育所等訪問が実施される際は、よろしくお願い致します。 ③上記したが、学校としては特に課題に感じていることはないが、なぜこのような訪問が必要なのか。保護者から依頼があれば、都度、行われたいといけないものなのか。課題があるとして、この訪問を通してどれ程改善されているのか。回数は適切なのか。改善が見込める課題なのか。などの点について、説明が欲しい。他の事業所よりも回数が多い上に(ケース会議も含めて)一回あたりの時間も長い。心理的にも、物理的にもとても負担に感じている。 保護者からの話しなどはあるが園として訪問、援助方法などとくになく、もう少し園児の話が出来たら良かった。	①貴重なご意見ありがとうございます。今後の療育の中で取り入れて行けるよう検討していきたいと思っております。 ②③貴重なご意見ありがとうございます。お忙しい中、訪問を受け入れていただき本当にありがとうございます。訪問先の皆様の負担やアンケートの結果をふまえ、来年度の保育所等訪問を休業させていただきます。今後も継続して、お子様について保護者様だけでなく、園や学校側との情報共有や連携の方法を検討していきたいと思っております。必要に応じてカンファレンスやケース会議などで連携を取らせていただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

ご協力ありがとうございました。

令和6年度 放課後等デイサービス自己評価【職員向け】(集計結果)

公表:令和7年2月28日

NPO法人にじ こども発達相談センターにじいろ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		人数が多い際には、部屋を分けて実施している。 活動人数、内容に応じた部屋を使用している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適正であるか	○		利用人数、メンバーを確認した上で、職員配置を決めている	職員の人数が少ないことがある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		各部屋の配置、入り口の案内が分かりやすく表示されている。カメラ、モニター画面を設置している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・安全に過ごせるよう、掃除と環境設定を行っている。 ・午前午後清掃活動を行っている	水回りの清掃は意識して行った方がいいと思う。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		行事ごとのアンケート、年間アンケートを実施している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議、面談、職員アンケートなど意見を出す機会がある。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		監査で指摘があった点を改善に努めている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		勤務時間内に研修の時間を確保している。 定期的で開催される研修が月に2回あり、必要に応じて申請を行えば受講することが可能 療育会議を行なっている	
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間で情報共有し、検討している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			パートの先生方との共有
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		目的や役割を話し合い、チームとして活動している。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		法人内で報告を行い、新たなアイデアを出し合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		専門職と連携を取っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎回、事前打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		都合により時間が十分にとれない時もあるが、要点を絞って共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			記録が不十分なことがある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		相談支援員とのモニタリングを、電話または対面で行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		親子教室への出張、保育所等訪問を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎していないため学校へ出向く際は、訪問先の職員と行事などの予定を共有するようにしている。	保育所等訪問支援を行っているが、学校によっては情報共有は難しい局面がある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		子どもによって入学前に園も含めた学校との情報共有を行っている。	学校や園によっては受け入れが難しい場合がある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		ドッチボール大会などへ参加をあんないしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や活動後の振り返りで、保護者とお話する時間を大事にしている。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて相談日時を設定し、面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		茶話会や行事など企画している 茶話会を開催し、保護者間の交流と情報共有の支援を行っている。	保護者参加の機会に参加人数が少ない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		報告、連絡、相談を行い、早急に適切な対応を行うよう心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月おたよりをホームページに配信し、活動内容に応じて公式LINEによる事前案内を送っている。 ホームページ、Instagram、Facebookを活用	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の保管に十分注意し、破棄時のシュレッター使用を徹底している。	名簿の扱い方
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			

対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		会議で報告を行い、反省を活かすよう検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

ご協力ありがとうございました。

令和6年度 児童発達支援自己評価【職員向け】

公表: 令和6年2月28日

NPO法人にじ こども発達相談センターにじいろ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動人数に適した広さと部屋数がある。	出勤人数によっては、個別の部屋が足りない日がある
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		毎回、スタッフの必要人数を検討・確保している。 出勤者人数が少ない日には、利用人数を制限する。空いているスタッフにポイントで入ってもらうなどで対応できている	子どもの特性によって、職員が不足していると感じる日がある。 個別対応が必要な子どもが一定の曜日に集中してしまい、支援者が足りない時がある 職員人数が足りてない
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされているか	○		カメラ、モニター画面を設置し、状況の把握、伝達がスムーズに行える スケジュールや予定に合わせた視覚化を行っている。	こどもトイレの段差が高いと思う スタッフルームで会議をするのは個人情報面でどうなのかと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	○		・換気や清掃、整理整頓など、環境設定を行っている。 ・子ども達の目に触れる場所は毎日清掃ができていく。 ・午前午後清掃活動を行っている。 ・活動に必要な道具は全て揃っているし、欲しい時にすぐ出せるようになってるのはすごくいいです。	廊下の物は視覚刺激になりやすいため、見えにくい収納へできたらい 雑巾と手拭きタオルと一緒に洗ったやつを使いたくないなと思います。 また、教材が増えすぎて、直せなくなって来ています。整理整頓をしたいです。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○		・その日の様子に合わせて、部屋を変え子供に合わせた支援を行っている。 ・クールダウンや発散の場として、使いやすくなっている。また、対応しているスタッフだけでなく、子どもを見かけたスタッフが、声をかけてくれるため皆で見守る環境ができていく。 ・その日の子供の様子に合わせて、空いている個室で製作ができてたりするのはすごくいいなと思います。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	7 保護者向け評価表により、保護者などに対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	○		行事ごとにアンケートや年間アンケートを実施している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年間アンケートを実施し、開示している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	10 職員の質の向上を行うために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	○		・研修会への積極的な参加や、法人内研修を実施している。 ・職員で声を上げ、研修を受講できる機会がある。 ・研修を受けやすい環境になっている ・定期的に開催される研修が月に2回以上あり、必要な研修も申請することで受講できる 法人内の研修などはすごく勉強になっています。	
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○			公表されているのは分かりません。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・月に一回会議を開き、個別支援計画を作成している。 ・支援計画策定会議を行っており、定期的に子どもの様子について話をおこなっている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○		会議を行い、職員全員で検討している。	

支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○			全職員での共通理解の方法
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○			
	16	児童発達支援計画書には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		目的や役割を設定し、チームで活動している。 事前の打ち合わせの中で、子に合わせた支援等を検討している	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		アイデアを出し合っている。 反省会を次の支援にいかしている		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか	○		情報共有し、専門的な意見を取り入れながら行っている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	○		自分の役割や、打ち合わせて疑問に思ったことはすぐに確認するようにしている		
	21	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		打ち合わせや共有事項をリーダーが声かけをして行っている 都合により時間が十分に取れない時もあるが、要点を絞って共有するようにしている。 課題や改善すべき点など	当日出来ないものは別日で実施を行うか要点だけ共有している 反省会ができる日と、できていない日があります	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録を元に適切な支援について考えたり、モニタリングでの報告を行っている。	記録がその日にできないことがあり、溜まってしまう 記録が不十分なこともある。課題分析に応じた記録の仕方を共通理解することも大切だと思う。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	○				
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか	○				
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	○				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所等訪問支援を行っている。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	関係機関や保護者	28	センターのみ回答	○			
		29	センターのみ回答	○			

右との連携	30	センターのみ回答	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		課外活動を組むことで、地域の人との関わりを持つ機会を取り入れている。 保育所等訪問支援をおこなっている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		活動後の振り返りの時間や、送迎時に情報共有を行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアトレを実施している	茶話会などは実施しているがグループによっては成立しない。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		振り返り等を丁寧におこなっている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて面談日時を設定し、相談や支援をしっかりと行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		茶話会を実施している。 茶話会などの交流の機会がある 父母の会は今後検討していく	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		報告、連絡、相談を常に心がけている。 自身で判断できない内容については、すぐに共有し、解決するようにしている	申し込みについては、定員の関係で断ることがある
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月発行のお便りをホームページに掲載している。	インスタが投稿できていません。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		保管と破棄の取り扱いに十分注意している。	スタッフルームカウンター上の名簿の扱い方。個人情報(指名)が丸見えの時がある。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		研修を行っている。 避難訓練では、スタッフの姿勢が素晴らしく、リアルな訓練ができていると感じる	

非常時の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		災害を想定し、避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			自分自身は、一人一人の状況は把握できていない
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事前に情報収集を行なっている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全対策委員会を設置し、安全管理に取り組んでいる。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・避難訓練などを実施して避難場所などを周知したり、連絡手段などを周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		会議で周知し、実際自分に起きた場合を想定するように心掛けている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月、会議で情報共有している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

ご協力ありがとうございました。

令和6年度 保育所等訪問支援自己評価【職員向け】(集計結果)

公表: 令和7年2月28日

NPO法人にじ こども発達相談センターにじ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材は適切であるか	○			
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか	○		職員で分担して行っている	個別療育については、担当しが児の様子が分からないので、日程を調整しづらい。
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		事前に情報共有し、実施後の報告も行っている。	
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ご要望に添えるよう改善している。	
	5 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		会議で意見を出し合っている。	
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	○			
適切な支援の提供	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか	○			報告書では、ニーズや課題を踏まえた内容を記載しているが、計画は一元化されてしまっていると思う。
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○		共通した取り組みなど、訪問先からの意向を文章化している。 訪問先へ事前アンケートを行っている。	計画作成の段階では、訪問に対する支援内容が個々に焦点をあてた形ではないと思う。 一元的な内容で作成されている。
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		全体で情報共有し、専門職の意見も取り入れている。	
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○			
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画策定会議で共有されている。	
15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	○		必ず打ち合わせを行い、連携を図っている。		

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか	○		訪問先職員と直接話し、園や担当の先生の考え方を共有し、それに基づいた助言を行うようにしている。 訪問先の意向を、電話やアンケートで伺った上で、実際している。	
	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか	○		児発管とともに、その児の支援をしている職員が会議に参加し、情報や支援方法の共有をすることがある。事前に情報を丁寧に引き継いでいる。	
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		市町村保健センターが運営する親子教室や検診へ参加している。	
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか	○			
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			機会があれば参加させて頂きたいです
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	○			
訪問先施設への説明	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか	○		必要な支援である事を説明し、訪問先の負担にならないよう心がけている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○		保護者の要望を確認した上で、作成を行っている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	○		随時、相談に応じることや、普段の様子をこちらから伺うことを心がけている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	○			

切等	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか	○		個人情報の管理、破棄する際のシュレグラー使用をしっかりと行っている。		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか	○				
	訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか	○		訪問時に直接話をする時間をなるべく取るようにしている。	
		39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか	○		実施後の報告を行い、情報共有をしている。	
		40	個人情報の取扱いに十分留意しているか	○			
		41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか	○			
		非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		
	43		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○			
44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか		○		会議の場で法人間で共有を行っている		
45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○				
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○				

ご協力ありがとうございました。